

平成23年度高鍋町事務事業評価表

◎事務事業の概要

事務事業名	保育園地域活動事業			基本目標	町民等との協働による子育て支援の充実		
担当課(局)・係	健康福祉課	子ども支援係	記入者	黒木 愛	評価者	井上 敏郎	開始年度 年度
評価状況	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 評価対象外 ※評価対象外を選択した場合は、その理由を下段から選んでください						
	理由	<input type="checkbox"/> 法定受託事務である <input type="checkbox"/> H24年度以降実施しない <input type="checkbox"/> その他(※下段に理由を記入)					

◎事務事業の目的・内容

事業の目的	対象(誰を・何を)	入所児童										
	意図・目的	児童の健全な育成を図るため、地域の高齢者や小中学生との世代間交流を促進する。										
事業の内容	児童と地域の高齢者、小中学生との世代間交流(高齢者招待など) 町内の私立の認可保育園2園(なでしこ保育園、やまばと保育園)が行っている。											
主な支出項目	22年度決算額	200	千円	23年度予算額	200	千円	事業従事者数	H22 0.04	人	H23 0.03	人	
	補助金	200	千円	国庫支出金	100	千円	22年度人件費	270 千円				
			千円	県支出金		千円	23年度人件費	196 千円				
			千円	地方債		千円	23年度予算額における一般財源の割合(H23)		50.0	%		
			千円	一般財源	100	千円	根拠法令・要綱等があれば記載してください					
町の補助事業	<input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> 町単独補助 <input checked="" type="checkbox"/> 国県補助			補助事業名		地域活動事業補助金						
	補助交付団体			補助金要綱								
	22年度	補助額	100,000	円	補助の形態	国県補助	23年度補助額	200,000	円	終期	年度	
		団体の決算額	104,253	円	昨年度までの補助金見直しの状況・検討委員会での決定事項等							
		補助の割合	95.9	%								
繰越額		0	円									

◎成果指標と活動指標

成果指標	成果指標名	何を狙い、どのような成果が得られたのか	
	1 町内実施園数	私立の認可保育園2園(なでしこ、やまばと保育園)が実施している。	
	2		
	3		
活動指標	活動指標名	どれほどの活動をしたのか、事業の手法、手順等を詳細に	
	1 事業実施園への補助	私立の認可保育園(なでしこ、やまばと保育園)が地域活動事業を実施し、補助金を交付している。	
	2		
	3		

◎達成状況

指標名		単位	21年度	22年度	23年度
成果指標	町内実施園数	目標値	2	2	2
		実績値	2	2	
		達成率	100.0%	100.0%	
	0	目標値			
		実績値			
		達成率	#DIV/0!	#DIV/0!	
	0	目標値			
		実績値			
		達成率	#DIV/0!	#DIV/0!	
活動指標	事業実施園への補助	目標値	200,000	200,000	200,000
		実績値	200,000	200,000	
		達成率	100.0%	100.0%	
	0	目標値			
		実績値			
		達成率	#DIV/0!	#DIV/0!	
	0	目標値			
		実績値			
		達成率	#DIV/0!	#DIV/0!	

事務事業名	保育園地域活動事業	担当課(局)	健康福祉課
-------	-----------	--------	-------

◎事務事業の評価

	評価する項目	点数	
		自己評価	委員評価
(必要性) 児童が、さまざまな世代の人と交流することで、縦・横のつながりを大切にし、優しさ、思いやり、協調性などを身に付けることができる。	◎目的からして町が行うべきか	2	-
	◎同様の事業を他課・他団体で行っていないか	2	-
	◎社会情勢(住民ニーズ)に適應しているか	2	-
	◎事業廃止による影響があるのか	2	-
有効性 園児同士や高齢者、小中学生とふれあうことにより、人間関係の深まりや社会性が生まれる。	◎目標に対して成果は得られているか	2	-
	◎すでに目的は達成されていないか	1	-
効率性 1施設100,000円の補助であるが、さまざまな活動、イベント等に活用され、世代間・異年齢児との交流が図られることで、児童の健全な育成に寄与していると思われる。	◎活動量の効果は実際に上がっているか	2	-
	◎費用対効果が十分に認められるか	2	-
協働性 ◎町民との協働の可能性はあるか(ボランティア・NPO等)			-
合計(最高18点)		15	-

※町補助をしている場合のみ記入

(公益平性) ◎公益性が高いか ※公益性:不特定かつ多数の者の利益の増進に寄与していること ◎行政では対応できない部分を、補助事業がカバーしているか ◎町民の理解が得られる事業であるか	◎公益性が高いか	1	-
	◎行政では対応できない部分を、補助事業がカバーしているか	0	-
	◎町民の理解が得られる事業であるか	1	-
合計(最高4点)		2	-
その他			

◎総合評価(今後の方向性を含む)

総合評価 ◎担当者の方針に対する評価者としての所見 ◎統括者として、どのように事業を進めるべきと考えているか、等	上記「事業の評価」にもあるように、様々な相乗効果が期待できる。現在の2園以外にも事業実施を促すことも必要である。	今後の方向性			
		事業の方向性 拡充 現状維持 縮小 廃止			
		廃止	縮小	現状維持	拡充
コスト					

事務事業評価委員会 評価欄	事業	拡充	◎未実施保育園への周知をして、町内私立保育園全てで実施してはどうか。 ◎現在の2園以外にも事業拡大を図ることは結構であるが、拡充した場合に県補助金の対象となれるか(事業箇所数、事業費など)確認しておくこと。 ◎地域とのつながりを持つことは大切なことであるので、他の4園に意見を聞き、事業の拡大をすべきである。
	コスト	拡充	
	委員評価	-	
	外部評価	-	